

ホストおよびソース別に分割する場合のライセンス使用状況レポートの空白

適用性

Splunkエンタープライズ

説明

ライセンスの使用状況をホスト別に分割すると、以下のシートのスクリーンショットのように、レポートに空白が表示されます。

App permissions

Users with read access can only save objects for themselves, and require write access to be able to share objects with other users.

Roles	Read	Write
Everyone	☐	☐
admin	☐	☐
can_delete	☐	☐
custom_developer	☒	☒
custom_standard	☒	☐
power	☐	☐
splunk-system-role	☐	☐
user	☐	☐

Apply selected role permissions to:

[Learn more](#)

☒ This app only (custom app) ☐ All apps (system)

調査

各インデクサは、インデックス付けされたデータの統計を、ソース、ソースタイプ、ホスト、インデックス別に定期的にLicense Managerに報告します。

個別の (ソース、ソースタイプ、ホスト、インデックス) タプルの数が `squash_threshold` を超えると、Splunkは `(host, source)` 値を収縮し、`{sourcetype, index}` ごとのブレイクダウンのみをレポートします。

その他のフィールドに対する圧縮のため、完全なレポート (各バイト) を保証するのは、ソースごとの分割タイプとインデックスだけです。発信元とホストで分割しても、必ずしも完全なレポートが保証されるわけではありません。

解決方法

これを回避するために、`[license]` スタンザの `server.conf` ファイルで `squash_threshold` 属性を使用してスカッシングを設定できます。

ただし、この値を大きくするとメモリの使用量が増える可能性があるため、注意が必要です。

```
[license]
squash_threshold =
```

```
squash_threshold = <positive integer>
```

- * Advanced setting. Periodically the indexer must report to license manager the data indexed broken down by source, sourcetype, host, and index. If the number of distinct (source, sourcetype, host, index) tuples grows over the 'squash_threshold', the (host, source) values are squashed and only a breakdown by (sourcetype, index) is reported. This is to prevent explosions in memory + `license_usage.log` lines.
- * Set this only after consulting a Splunk Support engineer.
- * This needs to be set on license slaves as well as license master.
- * Default: 2000

関連リンク

Splunkドキュメント

[Splunkライセンス使用状況レポートビューについて](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。